

木材加工をベースに機械加工の可能性を拡大し

新しい日本の
モノづくりを提案する

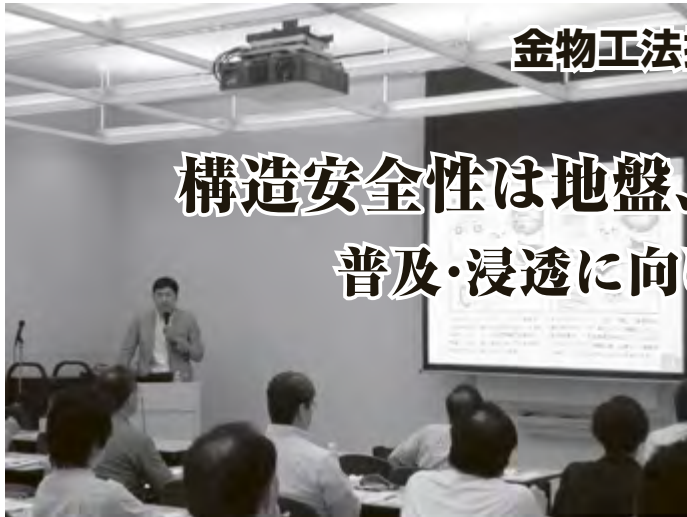
Machining JP
CORE

新産業メディア

マシニングコア

2012年 8月号





金物工法推進協議会 構造計算セミナー

構造安全性は地盤、基礎、上物トータルで 普及・浸透に向け連続セミナーを企画中

金物工法推進協議会(東京都中央区東日本橋2-27-4、前田嘉孝会長)は7月5日午後1時30分から東京都墨田区横網の江戸東京博物館・会議室で構造設計に関するセミナーを開催した。この日の講師は(株)M's(エムズ)構造設計、エムズ構造設計事務所(新潟県新潟市中央区西堀通3番町799番地)の佐藤実社長。テーマは「構造計算セミナー～構造的根拠に基づく木造住宅の構造設計と基礎設計による地盤保証について」。

新潟県の地域市場で木造戸建住宅を主体に構造設計や構造計算を手がけるかたわら、木造建築の構造技術について各種情報の普及等も行う佐藤講師は、木造住宅の構造安全性は上物、基礎、地盤がトータルで技術的に保証されていなければならないとして、上物、基礎、地盤の安全性の基盤をなす構造的根拠について概要を解説した。セミナーでは柱配置の直下率、梁の断面欠損、剛床合板の適正施工、適切な基礎の在り方、実際の地耐力に基づいた地盤設計など上物、基礎、地盤の順で構造安全性を確保するための代表的なポイントを紹介し、関連産

業は木造住宅の構造安全性を確実に提供しなければならないと主張した。

木質構造を中心とした構造計算・構造設計、構造塾(構造計算研修・サポートサービス・相談窓口)、減震フロートバランス構法・ピースの設計・販売、沈下修復・パイルソケット工法の設計・販売、木造構造計算技術に関する研修、地盤保証等を手がけるエムズ構造設計(2006年5月設立)は独自の地盤判定システムに基づいて地盤の設計を行うとともに、地盤の耐力と適切に連動

した基礎の設計、地盤・基礎と整合性を持つ上物(躯体)の構造計算、構造設計を提供している。また、木造住宅の構造安全性についての技術知識を普及するため、2010年1月に構造塾を開設した。代表者の佐藤社長は一級建築士、構造設計一級建築士、専攻建築士(構造)、農学修士(木質構造建築物基礎構法)、性能評価員。

セミナーに際して挨拶した金物工法推進協議会・前田会長はプレカット率が90%に達した木造住宅で構造安全性の担い手になるのはプレカット工場。金物推進協議会とはとくにプレカットを中心にした住宅産業で構造安全性を担う基礎技術の普及・浸透をめざした連続セミナーを計画していることを発表した。

木工業界の羅針盤をめざして

住宅産業が近代化する以前、建具や家具は地場の木工業者が個別に注文を受け、製作して現場に納めていました。しかし、戦後の住宅不足を補う側面から工業化・分業化が進み、製造・物流・販売という流通システムが木工業界にも確立し、木質建具や木質家具ははたらくこの経路を伝って全国の住宅に供給されてきました。だが、大手建材メーカーの参入や住宅市場の縮小と共にこの流通形態は崩れ、メーカー、商社、販売店が独自の販路を開拓していかなければならない時代に突入しています。木工業界にとって既存型の発想形態からの脱却は、今後の事業運営を左右する喫緊の大きな課題だと考えるでしょう。また、

既存流通システムに乗って生産と販売を担い立ててきた木工業界は最終ユーザーである消費者の情報が乏しく、市場のマーケティングが伝統的に不得意分野であり、これまで消費者が求める製品情報を吸い上げることがなかなか出来ていませんでした。こうした課題点を克服し、木工業界にとって「必要とされる情報とは何か」を追求し、そのニーズに合わせた提供することによって、木工業界の羅針盤となりうるメディアとして「e-建具」を創刊します。木工業界の皆様にとって「今何が必要で、将来のために今何をすべきか」というテーマを主眼に据えて読者を導きます。

年間購読料 12,600円
(消費税・送料込)

(株)エルエルアイ出版

〒103-0904 東京都中央区東日本橋2-27-4
電話03-3563-0738 FAX 03-5809-3650

月刊 e-建具
(イーたてぐ)

サイディングプレカットの「第3の核」が登場 合板加工機をサイディング用に改良



富国物産 株式会社

〒381-0003 長野市大字穂保中ノ配 348-5
電話 026-251-3377 FAX 026-251-3379



約100坪の倉庫内に設置

サイディングプレカットに新しい動きが加わった。長野県長野市の建材流通業者である富国物産（林達夫社長）は、今年の新規事業としてサ

イディングプレカット部門（SD部門）を新設。長野市の北信地域材加工事業協同組合の敷地にある100坪ほどの倉庫で8月から本格的に稼

働を開始した。

積算ソフトから開発

富国物産のシステムは、積算ソフト会社で新しく開発したサイディングプレカット専用のソフトを用いて、CAD/CAM連動で稼働。同社の外装材工事部門で工事を行うという、これまでにないシステムと流通が特色である。

職人不足に対応し新事業



森 政則 常務／大宮支店長

金井 敏寛 SDプレカット事業部長

【詳細はMachiningCore 2012年8月号】